

防災通信① 防災教育チャレンジプラン

～地域との連携を深める防災教育公開事業～

千葉県立姉崎高等学校

◆ 平成23年度の防災教育への取り組み ◆

平成23年度、千葉県立姉崎高等学校は、県教育委員会からの指定を受け「地域との連携を深める防災教育公開事業」に取り組みます。

今年度は、年間を通して、地域の皆様とともに、防災に関する様々な活動を行います。1学期には、防災講演会・研修会・体験学習など様々な活動を行いましたので、ご報告します。

2学期以降には、LHRなどを利用して、クラスでも防災に対して考えていきたいと思えます。



◆ 姉崎高校 ◆



◆ 京葉コンビナート ◆

◆ 地域の航空写真 ◆



◆ 防災講演会 ◆

7月15日、防災講演会を開催し、千葉科学大学危機管理学部の藤本一雄准教授にお話をいただきました。テーマは「千葉県の地震・津波災害と高校生にできること」という内容で、地震・津波についての具体的な内容を、図を使ってわかりやすく説明していただきました。

また、「高校生にできること」というテーマでは、「防災から減災へ」というお話が非常に印象的で、生徒一人ひとりが防災への意識を高めることができました。

◆ 防災担当者連絡会議 ◆

5月、本校において、「防災担当者連絡会議」を開催し、地域の代表者、企業、病院、消防署、教育委員会、地震防災アドバイザーなどの多くの参加をいただきました。

本校からは、ボランティア委員会の生徒が防災教育の取り組みについてプレゼンテーションを行いました。

「高校生として何ができるか」というテーマで積極的に地域の防災に参加していきたいという内容の発表でした。



◆ 防災学習会 ◆

8月1日、防災学習会として、出光興産・西部防災センターへ行きました。地域の方、PTA、本校の職員・生徒を含め34名の参加で、一日しっかりと防災について学びましたので、その様子をご報告します。

■ 出光興産へ ■

午前中は、出光興産へ。説明を受けた後、バスで施設内を見学しました。石油パイプラインや、石油タンクなど、普段間近では見られないものを見学することができました。



⇒原油を見えています。

工場内を見学したり、防災について質問をしました。避難訓練の頻度についてなど、活発な質問がありました。



■ 西部防災センターへ ■

午後は、西部防災センターで様々な体験を行いました。実際に体験してみると、難しさや、新たにできることの発見もあり、非常に有意義な研修でした。



↑ 消火器体験



↑ 起震体験



↑ AED体験



↑ 暴風雨体験



↑ 緊急通報体験。

◆ 非常食づくり体験・避難所体験 ◆

7月25日、8月4日には、夏休みを利用して、非常食づくり体験、避難所体験などの体験を行いました。普段することができない活動が多く、生徒たちも興味深く体験に参加していました。



↑ 初めて釜でご飯を炊きます。火はどうやっておこすのか、うまく炊けているのか不安そう。



↑ ご飯を炊いている間に研修です。避難所に持っていくもののリストづくり。



↑ ダンボールで作った避難所に寝てみます。寝心地を実感！

→ 非常時には、いし字溝、一斗缶を使って、かまどを作ることができます。



← お湯に入れるだけでご飯が炊ける「ハイゼックス」を利用した非常食づくり体験です。



◆ 避難訓練 ◆

7月19日、避難訓練を行いました。地震発生の際緊急放送後、整然とグラウンドに避難し、その後、AEDの講習を受けました。

地域からは、姉崎消防署の署員の皆様にもご指導いただき、訓練後、講評をいただきました。



千葉県立姉崎高等学校 防災通信
8月24日発行
所在地:千葉県市原市姉崎2632
TEL:0436-62-0601
http://www.chiba-c.ed.jp/anesaki-h



防災通信② 防災教育チャレンジプラン

～地域との連携を深める防災教育公開事業～

千葉県立姉崎高等学校

◆校長挨拶

日ごろから、本校の教育活動にご理解・ご支援いただき誠にありがとうございます。ごぞいます。

本校では、今年度、内閣府および千葉県教育委員会から防災教育の指定をいただき、研究を進めてまいりました。

3月の東日本大震災では、多くの方が被災されました。そのような災害時、高校生はそれぞれの地域で共助の大切な担い手になることが期待されています。

この取り組みをとおり、生徒に防災に関する正しい知識を学ばせ「自分の生命や安全は自分で守る」安全指導を徹底し、生徒の危機回避能力や危機予知能力を育成する、自他の生命を尊重する心、地域社会の構成員の一人として何が出来るか、共助・公助の心を育成したいと考え活動してまいりました。活動にあたり、地域の皆さん及び関係機関のご支援・ご指導をいただきましたことに心より御礼申し上げます。また、今後ともご支援・ご指導お願い申し上げます。

千葉県立姉崎高等学校 校長 岡本 次夫

◆市原市総合防災訓練参加

→ 消防車も出動し、訓練に参加しました

9月4日、市原地区合同の防災訓練を行いました。地域の方々、消防署・市原市役所・本校生徒などが参加しました。まずは、本校生徒も誘導に参加し、それぞれの地域ごとに本校に避難しました。市役所による防災放送や、炊き出し訓練も行われました。東日本大震災では千葉も大きな被害を受けました。避難訓練での経路確認も有意義なものになりました。



↑ 誘導に従って整然と避難している様子です

↑ 地域ごとに避難が完了しました

◆文化祭

11月5日、姉高祭文化の部が開催され、その一環として、ボランティア委員会を中心に、防災展示やAED研修会・防災DVDの上映などを行いました。

PTAの皆様にも参加いただき、AEDの使用方法について実践的に学ぶことができました。



← AED研修の様子

◆青葉台三丁目防災訓練参加

12月4日に青葉台三丁目防災訓練に参加しました。消防署の方々の指導のもと、消火器訓練や簡易トイレの設置、蠟燭製作や炊き出し訓練を行いました。



↑ 消火器訓練 ↑ てんぷら油を使ったランプ作り



↑ チェーンソーの使い方



↑ バケツと段ボールの簡易トイレ・炊き出し・ロープワーク

◆防災公開LHR

『地域との連携を深める防災教育公開事業』の一環として各HRで防災に関する授業を行いました。

避難時に必要なもののリスト作りや、災害時に高校生ができること、避難所での生活についてなど、体験できる内容が多く、生徒たちも真剣に取り組めました。

◆校内冬季避難訓練

12月19日に姉崎高校にて、冬季避難訓練を行いました。全員でグラウンドに避難した後、出光興産の方に講演をしていただき、その後、学年ごとに、消防署のご協力をいただき、シェルター避難の訓練、AED研修、消火器訓練を行いました。



◆第2回防災担当者連絡会議

8月24日に本校にて開催し、地域の方々、企業の代表者の皆様、消防署の方などにご出席いただき、本校生徒によるプレゼンテーション資料を利用した中間報告や消防署の方からの詳しい説明や質疑応答など非常に実のある内容になりました。お忙しい中、ご出席いただき本当にありがとうございます。12月には第3回会議を開催する予定です。



↓ 生徒も誘導に参加。

◆防災講演会

9月22日に東京災害ボランティアネットワーク事務局次長、福田信章氏による講演会が行われました。東日本大震災の様子を中心に災害に対する具体的な対策を教えてくださいました。



◆防災展示

→ 大震災の新聞の展示です。恐ろしさが伝わってきます



← 災害時のために日頃からの準備が必要です。

千葉県立姉崎高等学校 防災通信

12月19日発行
所在地: 千葉県市原市姉崎2632
TEL: 0436-62-0601
<http://www.chiba-c.ed.jp/anesaki-h>

